第３回 TFU 実学臨床研究セミナー

利用者中心の小規模施設ケア

～ より良いケアと経営の狭間で導入と運営を考える～

資　料　集

日　時：２０２１年１１月２５日（木）18:30～20:00

主 催：TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

目　次

1. 第 3 回セミナーの趣旨とプログラム……3

2. 講演「施設利用者中心の小規模施設ケア～より良いケアと経営の狭間で導入と運営を考える～」
　　高橋誠一氏（東北福祉大学総合マネジメント学部 教授）……4

3. 【資料①】第 4 回 TFU 実学臨床研究セミナー案内(チラシ) ……16

4. 【資料②】2021 年度大学院説明会について……18

5. 【資料③】TFU 実学臨床研究セミナー実行委員名簿……19

奥 付

第３回セミナーの趣旨とプログラム

【第３回セミナーの趣旨】

トム・キットウッド著『認知症のパーソンセンタードケア』（クリエイツかもがわ、２０１７年）の第７章は「認知症ケアとサービス提供組織」というタイトルで、認知症ケアのメゾレベルを論じています。認知症ケアではあまり論じられることの少ないテーマですが、介護現場では避けて通れないテーマだと思います。今回は、俯瞰的ではありますが、キットウッドを導きとして、ケアと経営の関係を考えてみたいと思います。いわく、ケアは経営に従うのか、あるいは、経営はケアに従うのか、あるいは、・・・・

【開催方法】オンライン開催

【プログラム】

１８：３０　開会挨拶　実行委員長・阿部一彦（東北福祉大学総合福祉学部 学部長・教授）

１８：３５　**講演者：高橋 誠一氏**（東北福祉大学総合マネジメント学部 教授）

「施設利用者中心の小規模施設ケア～より良いケアと経営の狭間で導入と運営を考える～」

◎講演者略歴：高橋 誠一（たかはし せいいち）

北海道大学大学院経済学研究科博士課程中退。宅老所、グループホーム、ユニットケア、小規模多機能型居宅介護などの地域に密着した小規模ケアの運営を研究する中で、認知症介護、地域福祉に関心を持つ。現在、宮城県介護人材確保協議会会長。

単著『小規模多機能型居宅介護におけるリハビリテーションの意義』 総合リハビリテーション 12 月号　医学書院　2021 年

◎コーディネータ：

中里 仁氏（社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜 杜長）

大島 巌氏（東北福祉大学副学長・教授）

１９：３０　指定発言と全体討論

２０：００　閉会挨拶

利用者中心の小規模施設ケア
～より良いケアと経営の狭間で導入と運営を考える～

東北福祉大学
高橋誠一

第3回セミナーの趣旨：

- トム・キットウッド著『認知症のパーソンセンタードケア』（クリエイツかもがわ、2017年）の第7章は「認知症ケアとサービス提供組織」というタイトルで、認知症ケアのメゾレベルを論じています。認知症ケアではあまり論じられることの少ないテーマですが、介護現場では避けて通れないテーマだと思います。今回は、俯瞰的ではありますが、キットウッドを導きとして、ケアと経営の関係を考えてみたいと思います。いわく、ケアは経営に従うのか、あるいは、経営はケアに従うのか、あるいは、・・・・

考えてみたいこと

- 現在編：いまある力を活かそう 「経営は協力」
- 過去編：大きな改善があったことを確認
- 未来編：自ずと進むべき道が見えるか（更に改善ができるのか、もう限界に達したのか、という問いに代えて）
- みんな疲弊していないか
  - ある高齢者施設長から「職員にも聞かせたい」と言われたけれど。「これ以上職員には無理が言えない」と言う施設長もいたけれど。
  - 分科会7　地域を元気にする「活躍支援」の地域・場づくり　2021年11月23日午前　活躍支援は能天気？
    - 第8回生活困窮者自立支援全国研究交流大会　2021年11月13日からオンライン

目次

1. 小規模ケアの必要性：過去を振り返ることから
2. 小規模ケアの基礎理論としてのパーソンセンタードケア：高齢者ケアの標準
3. 小規模ケアを実践する組織と経営：理想と現実のギャップ？

1. 小規模ケアの必要性

- 小規模ケアとは何か
  出雲ことぶき園の槻谷さんの小規模多機能
  宅老所に出会って考えたこと：30年前のこと
- 実は、施設が支えてくれた「宅老所運動」
- 小規模多機能というより小規模自由
- ユニットケアへ

「私の老人ホームに関する希望事項」

1．小規模(5から10名以上）入所型老人ホームも公的認可事業として欲しいこと。

－住み慣れた地域にあること－

2．小規模且つ多機能性のある老人ホームにして欲しいこと

－入所、デイサービスを問わず、いつでも必要な期間や時間が、本人や家族の事情により自由に選べること－

－身体の状態で老人ホームを分けないこと。身近な老人ホームを誰でもが利用できること－

3．利用者のプライバシー、人間としての尊厳が守られる老人ホームにすること。

4．こうした地域密着の小規模多機能型老人ホームの中に、ヘルパーさん、保健婦さん（必要に応じて病院や開業医との協力）を配置し、保健・医療・福祉の連携かつ一体化をはかること。

5．施設長に国家資格制度を確立して欲しいこと。

－寮母さん、指導員さん、看護婦さんなどからこそ、施設長になる道筋をつくってほしいこと。一部の約束された人しか施設長になれるのではなく、あくまでも、能力にもとづく方法をとること－

槻谷和夫『誰もが望む老人ホームづくり　小規模多機能型老人ホームを実践して』
1992年、出雲ことぶき福祉会

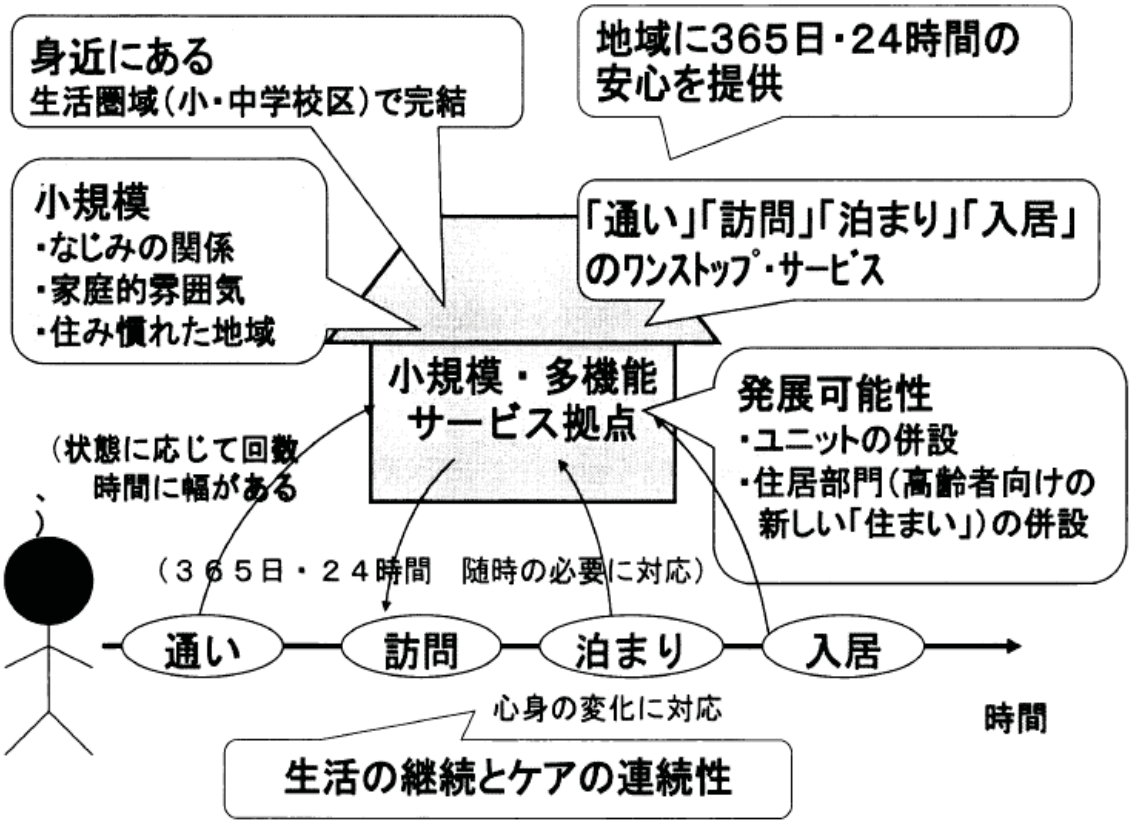
施設と家庭的雰囲気

- 施設の歴史
  - 認知症専用棟　認知症の人ためではない？
  - 回廊式廊下　自由に徘徊できる環境？
  - 中庭式　回廊式、見方を変えると（日本では少ない）
  - ユニット型　小規模ケア、グループホーム型
- ケアの歴史
  - 離床運動　寝かせきりからの転換
  - 大食堂　大集団食事、立ったままの介護、車椅子、身体拘束
  - 小規模ユニット型　家庭的雰囲気
- 個室と死角　ケアとのバランス

小規模ケアと家庭的雰囲気

- 1980年代後半　宅老所（託老所）通い中心　家族会、家族介護者、施設をやめた職員が始める。民家活用が家庭的雰囲気を自然につくる、住宅地域に立地
- 1990年はじめ　E型デイサービス（認知症対応毎日型）
- 1990年に入り、宅老所の小規模多機能化、通って、泊まって、住んで、来てくれる
- 1990年半ば、自主グループホームが全国各地に
- 1990年後半　高齢者施設にユニットケア、個室化
- 2000年介護保険　全室個室ユニットケア
- 地域密着型サービス　グループホーム
- 小規模多機能型居宅介護
- 看護小規模多機能型居宅介護

図１.小規模・多機能サービス拠点のイメージ



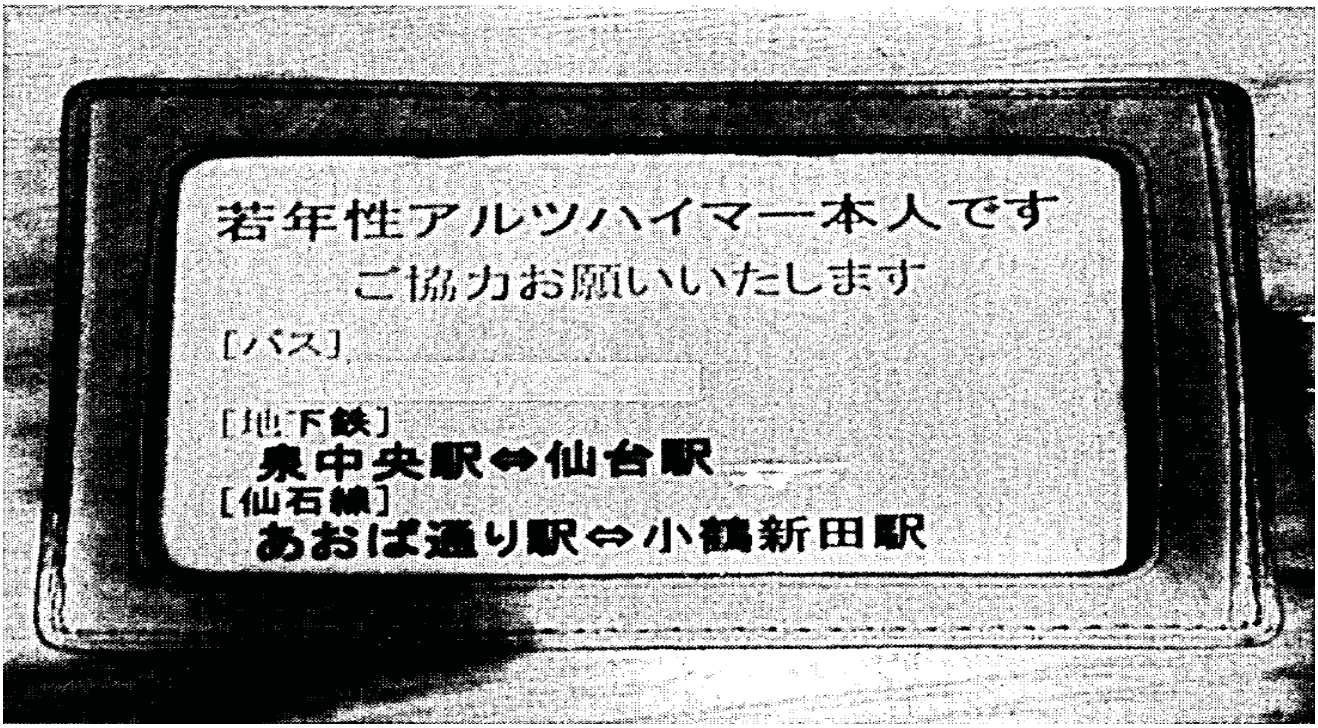
2012_小規模多機能型居宅介護開設と運営手引き_高橋誠一編

2. 小規模ケアの基礎理論としてのパーソンセンタードケア

-

中心概念としての関係性とケア
PCCの図式化の試み
変化の理論
当事者中心

丹野智文さんの手づくりカード



出典：丹野智文著『丹野智文笑顔で生きる』2017年、文藝春秋

トム・キットウッドはなぜパーソン・センタード・ケアを考えたのか

- 医学モデルに対抗するケアモデルの確立
- ケアモデルの前提となる人間観（パーソンフッドの維持）
- 理論的枠組としての認知症の社会心理（関係性）、深層心理（心理的防衛）のメカニズム
- モラルコミュニティの創造　組織、文化
- ※日本の小規模ケアでは「そのひとらしさ」、「寄り添うケア」がキーワード

悪性の社会心理：その人の価値を低める行為：Tom Kitwood

1 だます
2 できることをさせない
（デスエンパワーメント）
3 子ども扱い
4 おびやかす
5 レッテルを貼る
6 汚名を着せる（スティグマ）
7 急がす
8 インバリデーション
（本人の思う現実を認めない）
9 仲間はずれ
10 もの扱い
11 無視する
12 無理強い
13 ほっておく（後まわし）
14 非難する（責める）
15 中断させる
16 からかう
17 軽蔑する（自尊心を傷つける）

認知症の人の心理的ニーズ

認知症の弁証法

（心理的経験≡脳の活動）

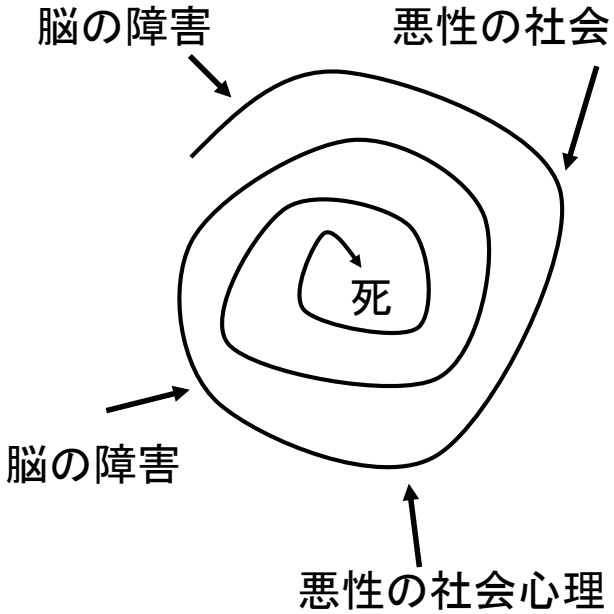
ー
＋

（脳の病理、脳の発達）

ー：悪性の社会心理
＋：前向きな働きかけ
（ポジティブパーソンワーク）

古い文化から新しい文化は理解できないが、
新しい文化からは古い文化の問題点が明らかになる

古い文化の（弁証法的）プロセス



現状を正当化する
あらゆる言説が生まれる

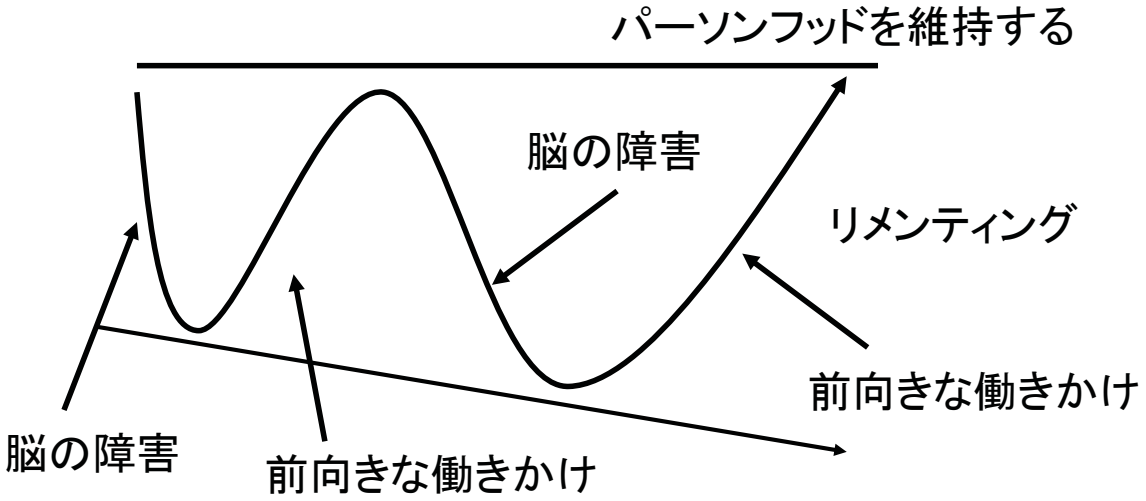
身体を後に残した死

アルツハイマー病：
治療なし、助けなし、望みなし

医学の革新的進歩が
なければ改善できない

・
・
・

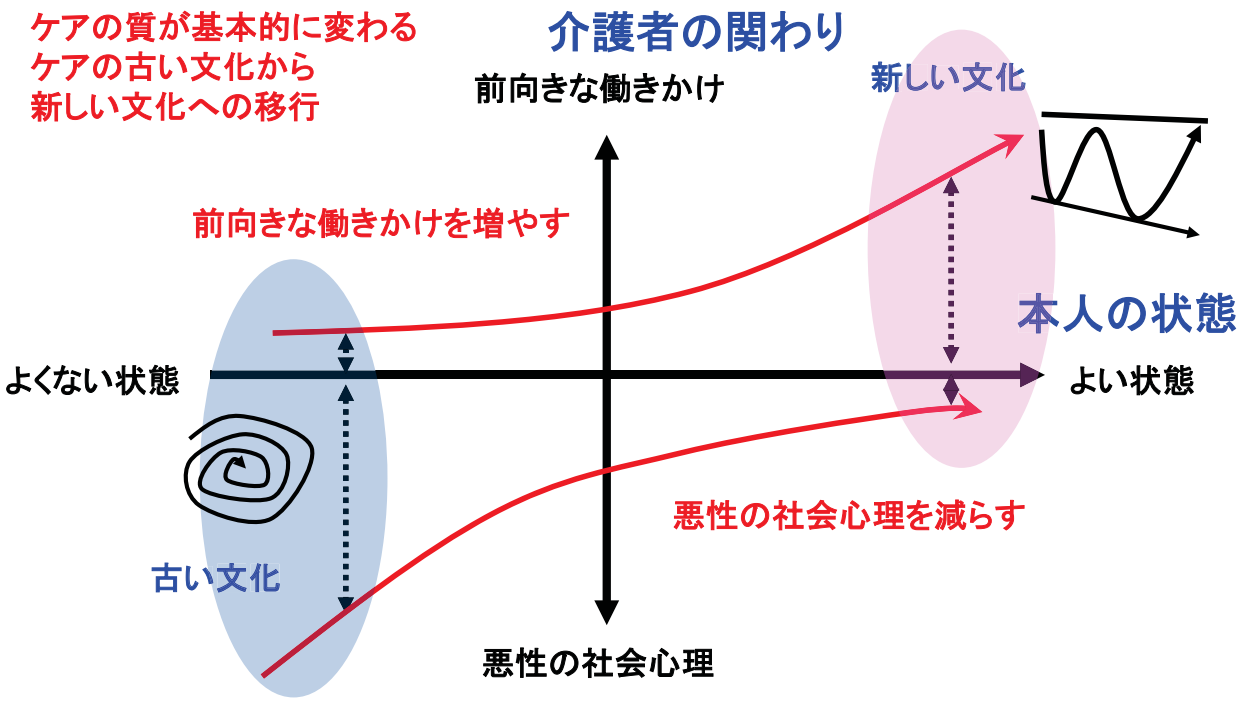
新しい文化の弁証法的プロセス



障害が重くなるほど、よいケアが必要になる
療法的プロセスが終了することはない
悪化の必然的段階論は否定される

ディメンシアケアマッピング（DCM）

本人のよい状態と介護者の関わり（前向きな働きかけと悪性の社会心理）の関係



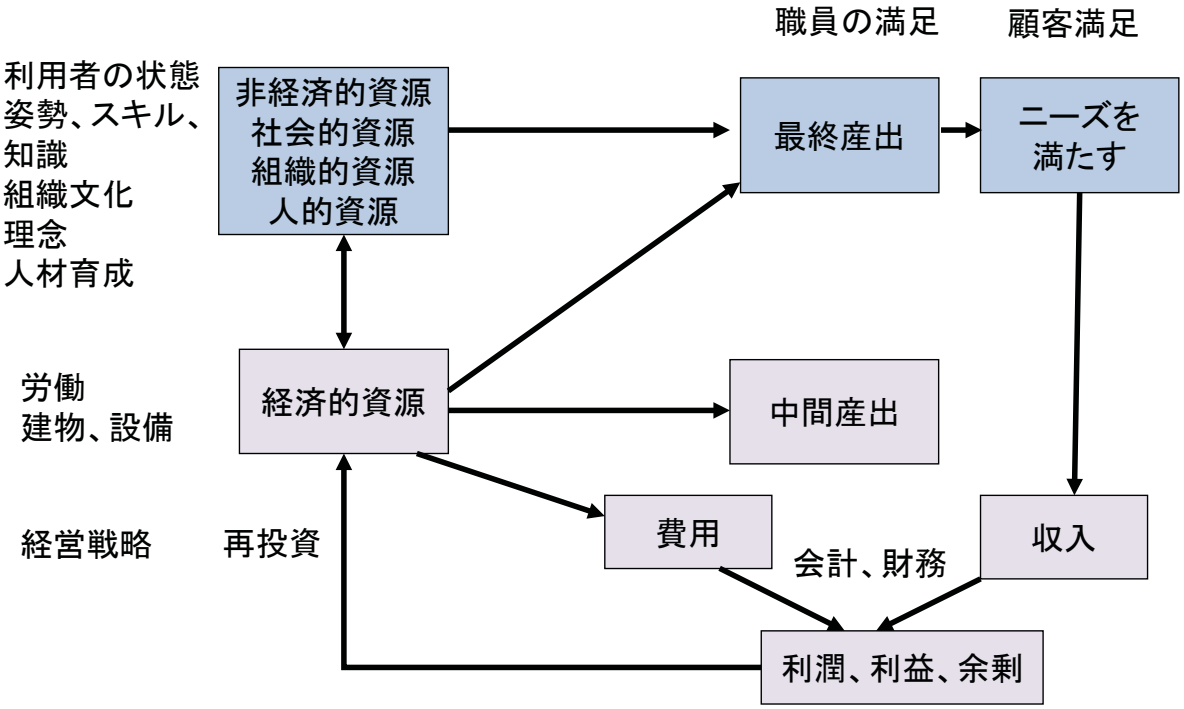
3. 小規模ケアを実践する組織と経営

- PCCから見る「組織的防衛」
- 身体拘束原則禁止
- 福祉学と経営学の類似性？歴史的、応用理論的
- 経営学は福祉学に近づいている、福祉学は経営学に近づいている？
- 「福祉サービスの組織と経営」社福士養成テキストに見る事業経営、地域展開
- 高齢者施設における「ユニットケア運動」

身体拘束の悪循環

- 認知症があり体力も弱まっている高齢者を拘束すれば、ますます体力は衰え、認知症が進む。その結果、せん妄や転倒などの二次的・三次的な障害が生じ、その対応のためにさらに拘束を必要とする状況が生み出される。
  - 身体拘束ゼロへの手引き - 東京都福祉保健局 https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/zaishien/gyakutai/torikumi/doc/zero_tebiki.pdf

福祉の生産アプローチ
福祉サービスと経営は別か？



介護組織：2つのタイプ

	タイプA	タイプB
管理者の役割と地位	権威主義的、離れている	模範的、近づきやすい
スタッフ間の地位の差	大きい、厳格	小さい、柔軟
クライアントの地位	最下位	職員と同等
コミュニケーション	一方向、非人間的	双方向、対人関係的
感情と 傷つき易さ	隠される、 扱われない	遠慮せず表出可能 扱われる
権力の差	大きい	小さい

さまざまなレベルでまわりが変わる

文化、社会、地域社会の変化

研修、ケアプラン・・・

組織 → 介護者 ⟷ 本人 ― 介護者・家族

私たち－あの人たち
↓
我－汝関係

組織的防衛
↓
新しい組織文化
介護者の支援

心理的防衛
燃え尽き
↓
経験的自己の発達
（自分の弱さを資源に変える）
姿勢（価値観）、スキル、知識
反省的実践家、低い心理的バリア、尊重

本人の声
権利の尊重

変化を受け入れられる支援

【資料１】

福祉等関係専門職の生涯キャリア形成を目指す

TFU 実学臨床研究 セミナー

第4回

福祉施設利用者の心理と行動

～「てこずり行動」への理解・対応 ～

◆ 日 時　2021 年 12 月 17 日（金）18 時 30 分 ～ 20 時

◆ 場 所　Zoom オンライン（Zoom 情報後日送付）

◆ プログラム

◎ 講演テーマ：福祉施設利用者の心理と行動　～「てこずり行動」への理解・対応 ～

講師：渡部 純夫 氏（東北福祉大学総合福祉部 福祉心理学科 教授）

コーディネータ：調整中

◎ 情報提供：60 分 ／ 意見交換：30 分

◆ 参加方法　無料 Web 申し込み

◆ 第4回 セミナー趣旨

福祉施設で利用者さんとかかわりを持つにあたって、なかなかその行動の意味を理解できないことが起こります。この「てこずり行動」を通して表現された心理的意味は、なんなのか、利用者さんのどんな心の真相が隠されているのか、それをどのように見ていけばよいのかなどについて、臨床心理学の視点を中心に考えていきます。

◆ 講師プロフィール　渡部 純夫（わたなべ・すみお）

東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科教授・東北福祉大学大学院総合福祉学研究科教授。
東北福祉大学学生支援センター長。臨床心理相談室室長。学生相談室相談員。 福祉心理学科学科長
（主な著書）
『福祉の時代の心理学』(共著)(ぎょうせい)。『高齢者の「こころ」事典』(共著)(中央法規出版社)。『子供の健康』(奥会津書房)。『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』(共著)(八千代出版)。『心理学理論と心理的支援』(共著)(ミネルヴァ書房)『福祉心理学総説』(共著)(田研出版)『社会貢献学入門』(共著)(TKK3 大学連携プロジェクト共同テキスト開発委員会)『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』(編著)(八千代出版)『福祉心理学』(編著)(ミネルヴァ書房)他

※裏面もご覧ください

◆企画・運営：TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

TFU 実学臨床研究セミナー

第５回セミナー 予定

認知症スティグマと その低減方策について考える

日時　2022 年 1 月 27 日（木）18 時 30 分～20 時
場所　Zoom オンライン
講師　石附　敬 氏（東北福祉大学総合福祉学部 准教授）

◆ これから（2022 年3月まで）のスケジュール

※テーマは変更される場合もございます

回	月	テーマ ／ 講師
1	終了	実践現場で「学び続けること」の意義　～実践の質を高め、問題解決力を身につけるためにできること～
2	終了	施設における虐待防止を考える　～より良い支援を育むみんなの課題～
3	11/25 （今回）	利用者中心の小規模施設ケア 髙橋 誠一 氏（東北福祉大学総合マネジメント学部 教授）
4	**12/17** （次回）	**福祉施設利用者の心理と行動 ～「てこずり行動」への理解・対応 ～** **渡部 純夫 氏（東北福祉大学総合福祉学部 教授）**
5	2022 年 1/27	認知症スティグマとその低減方策について考える 石附　敬 氏（東北福祉大学総合福祉学部 准教授）
6	2/17	まちで育つ ～地域療育システムの開発と評価、そして実践 ～ 三浦　剛 氏（東北福祉大学総合福祉学部 教授）
7	3/3	障がい者の社会参加と地域生活 阿部 一彦 氏（東北福祉大学総合福祉学部 教授）
8	4 月	触法障害者の『入口支援』を巡る課題を考える 田中　尚 氏（東北福祉大学総合福祉学部 教授）

◆【月例】TFU 実学臨床研究セミナー開設の趣旨

こんにち家族や地域社会が変化し多様化する中で、人々の幸せやより豊かな生活を願い、複雑化する支援ニーズに向き合う対人援助の専門職の皆さんは、絶えず新しい知識を身に付け、成長し、新しく生じる問題に対応する力量を身に付けることが求められています。

「行学一如」を建学の精神とする東北福祉大学（TFU）は、実践の質を継続して高め、問題解決力を身につけるための学びの機会を提供する取組み、月例「実学臨床研究セミナー」を開催することにいたしました。

福祉現場など実践の場のイマを見つめ、これから求められる対人専門職人財の育成や成長、キャリア形成を考える機会になれば幸いです。

【企画・お問い合せ】
東北福祉大学　TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会
TEL 022-717-3359　Fax 022-301-1293　E-mail kenkyu-seminar@tfu-mail.tfu.ac.jp
※TEL 及び FAX は同事務局を担う実学臨床教育推進室につながります（平日 8:30～17:30 のみ 土日・祝日不在）

東北福祉大学大学院

合同（通学・通信）説明会

12月18日(土)　（事前予約制）

10:30～12:00　受付開始（9:30～）

●総合福祉学研究科
社会福祉学専攻（通学・通信）
福祉心理学専攻（通信のみ）

●教育学研究科
教育学専攻

●場所　**本学仙台駅東口キャンパス　4階**　仙台市宮城野区榴岡 2-5-26　TEL:022-766-8833
（JR仙台駅徒歩 3 分、地下鉄東西線宮城野通駅徒歩 3 分）
アクセスマップ　https://www.tfu.ac.jp/access/higashiguchicampus.html

●対象　本学大学院への進学に関心のある方。　学部生の方も、社会人の方も、ご参加を歓迎しております。

●内容　・総合福祉学研究科社会福祉学専攻、福祉心理学専攻／教育学研究科教育学専攻について
・在学大学院生との語らい・質疑応答　※終了後、希望により、個別相談に応じます。

●予約方法　**メールでご予約下さい。**graduate@tfu-mail.tfu.ac.jp　**（12 月 13 日締切）**
お名前、連絡先、ご希望の専攻、通信・通学のどちらを検討しているかをお知らせください。

大学院入試日程

課　程	出 願 期 間	選 考 日
通学制【博士課程】（総合福祉学研究科社会福祉学専攻）		
一般選抜・社会人選抜	2022 年 1 月 11 日（火）～2 月 2 日（水）	2022 年 2 月 12 日（土）
通学制【修士課程】（総合福祉学研究科社会福祉学専攻・福祉心理学専攻・教育学研究科教育学専攻）		
一般選抜Ⅱ期	2022 年 1 月 11 日（火）～2 月 2 日（水）	2022 年 2 月 12 日（土）
通信制【修士課程】（総合福祉学研究科社会福祉学専攻・福祉心理学専攻）		
Ⅱ期	2022 年 1 月 11 日（火）～2 月 10 日（木）	2022 年 2 月 26 日（土）

お問い合わせ先
東北福祉大学　大学院事務室
TEL：022-727-2288

【資料③】

TFU実学臨床研究セミナー実行委員会名簿

2021年8月

連番	お名前	所属等
	学外委員	
1	中里仁様	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの杜
2	野田毅様	社会福祉法人東北福祉会・本部事務局/せんだんの館
3	舟越正博様	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの里
4	土井勝幸様	医療法人社団東北福祉会・せんだんの丘
5	加藤誠様	医療法人社団東北福祉会・せんだんの丘
6	大橋雅啓様	東日本国際大学／全国・宮城県・福島県精神保健福祉士協会
7	菊地知憲様	総合南東北病院／宮城県医療ソーシャルワーカー協会
8	小林紀代様	多賀城市保健福祉部子育て支援課／宮城県社会福祉士会
	学内委員	
10	（委員長）阿部一彦	東北福祉大学総合福祉学部
11	阿部利江	東北福祉大学総合福祉学部
12	石附敬	東北福祉大学総合福祉学部
13	大島巌	東北福祉大学総合福祉学部
14	佐藤俊人	東北福祉大学総合福祉学部
15	清水冬樹	東北福祉大学総合福祉学部
16	高橋誠一	東北福祉大学総合マネジメント学部
17	竹之内章代	東北福祉大学総合福祉学部
18	田中尚	東北福祉大学総合福祉学部
19	芳賀恭司	東北福祉大学総合福祉学部
20	三浦剛	東北福祉大学総合福祉学部
21	吉田孝	東北福祉大学教務部教務課
22	菅野陽子	東北福祉大学通信教育事務部
23	事務局	東北福祉大学実学臨床推進室
24	広報担当	東北福祉大学総務部PR課

第 3 回 TFU 実学臨床研究セミナー 資料集

施設利用者中心の小規模施設ケア

~ より良いケアと経営の狭間で導入と運営を考える ~

発行日　2021 年 11 月 25 日

主 催　TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

編集・発行　TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会事務局

電話：022-717-3359　Fax：022-301-1293

E-mail　kenkyu-seminar@tfu-mail.tfu.ac.jp